

# 橋町の見どころ

## まちの歴史シリーズ ⑮

橋町HP <https://tachibana-net.jp> **歴史・史跡** クリック

発行：橋町まちづくり推進協議会  
ふるさと部会  
発行日：令和5年9月1日  
責任者：國平 安治  
事務局：橋公民館 22-3884

今月号の案内者は

かみののだ きよし  
上野区長 野田 清さん



今回は一気に縄文時代  
までさかのぼるバイ

### クイズ

しもかいはらいせき

●下貝原遺跡は上野のどこにありますか？

## じょうもんきはつ 橋では縄文期初

### いちば しもかいはらいせき 市場・下貝原遺跡 (上野)

●先月号は鎌倉から戦国時代の橋氏の動き  
を紹介しんしゃったけど、今回は一気に  
縄文時代まで遡るケンね。

●表題の2つの遺跡は上野★①にあ〜とタイ。  
市場は郷の木を過ぎて上野集落に入った辺  
りの遺跡★②、蛇神川が下貝原遺跡★③タイ。  
結構、広〜く調ベトンさ。

●ここは六角川の改修、圃場整備、蛇神川  
改良の3つの工事が行われて調査★④された  
バイ。圃場の報告は2つに分かれと〜と。

●調査の結果、縄文末期★⑤の遺物(夜臼  
土器)★⑥が見つかったとよ。いろいろいきさ  
つはあった★⑦ごたバッテン。

こいまでは、表土から拾ったもんは、おつぼ  
山や北檜崎であつたらしかバッテン、今回の  
発掘調査で初めて★⑧出てきたとやもんね。

●特に珍しいのは鍛冶に関する遺構バイ。  
鎌倉時代のものらしかね。ほかにも色々★⑨あ  
るごたばってん、むつかしかあ。

★①遺跡の場所 赤丸上段が市場、下段が下貝原



### ★印番号の解説

★②市場遺跡

上野は小さな集落「こが」  
に分かれています。写真は、  
市場集落から玉江方面を  
撮影しています。



★③下貝原遺跡

上野バス停から玉江方面に  
曲がって100mほどで上  
野自治公民館があります。  
写真は公民館広場の北側か  
ら蛇神川(改修後)を撮影  
したものです。



★④調査範囲

凡例に示した工事が行われています

凡例

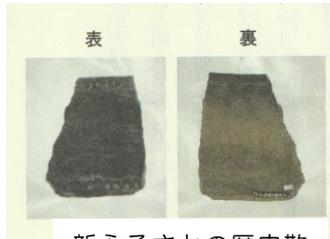
- 六角川
- 圃場 A
- 圃場 B
- 蛇神川



図9 市場・下貝原遺跡周辺図

## ★⑤縄文末期とは

一般的には今から16000年前頃～2400年前（紀元前4～5世紀）頃とされます（始まりと終わりの時期は学者によって異なります）。この時代を、さらに、早・前・中・後-晩期などに区分して解説されることが多いのです。新ふるさとの歴史散歩には晩期と書かれています。



新ふるさとの歴史散歩に掲載の夜臼土器

## ★⑥どんな土器？

夜臼土器と名付けられたものです。

## ★⑦縄文末期の遺物発見のいきさつ

圃場整備に伴って、蛇神川もあわせて改良することになりました。それまでの六角川や圃場整備の発掘調査の段階では、六角川近くが古く、南に行くにつれ新しくなる傾向がありました。蛇神川予定地でも、弥生から近代まで（縄文はなかった）のものでした。

しかし、発掘調査終了後、浚渫工事が行われたのですが、工事現場の深い所から縄文末期の土器が見つかったのです。

## ★⑧ほかの遺跡では出てこなかった？

六角川の流域には遺跡がたくさんあります。周辺に人がいたと思われますが、六角川の発掘調査では弥生時代以降の遺跡ばかりで、縄文時代の遺跡は見つかりませんでした。

## ★⑨ほかにはどんなものがありますか

13世紀頃の鍛冶に関する遺構があります。

潮見川は、橋氏が1237年に橋に来て、新田開発のために潮見山のふもとに新しく川を切り開いたものです。この時に使われたのかもしれない。



クイズの答え

上野公民館北側、蛇神川の場所

## 2つの遺跡のあらまし

市場遺跡と下貝原遺跡は、表ページで紹介したように3つの工事が行われましたが、どれも点々とスポット的な調査で、面として一体的な調査ではありません。そこで出土したものを時代別にまとめて整理したのが右の図です。遺物の色区分は以下のとおり。

弥生（黄）、古墳（黄緑）、奈良・平安（朱）  
中世（青）、近世（水色）です。

全体として六角（潮見）川に近い場所に弥生や古墳時代のものが多く、江戸時代（近世）は蛇神川に近いほど多いことがわかります。弥生のは甕や石鏃、古墳時代の竪穴住居、古代では須恵器、中世では陶磁器、近世では大型の掘立柱建物が出ています。

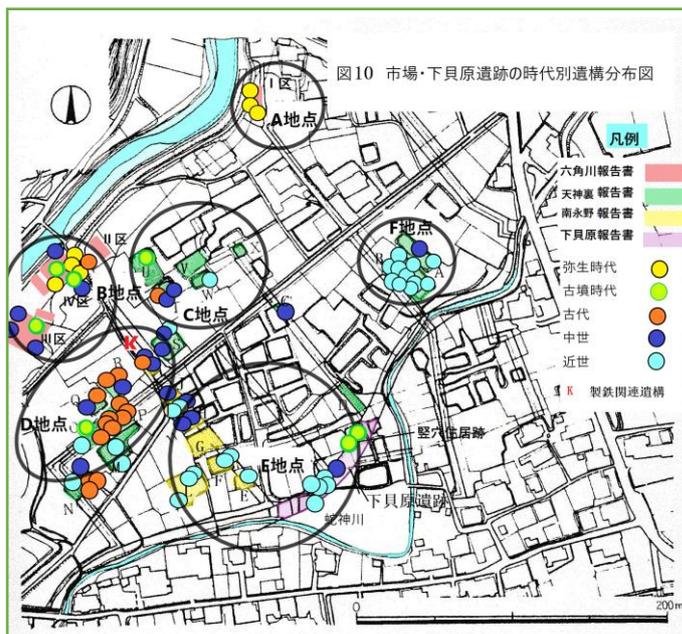


図10 市場・下貝原遺跡の時代別遺構分布図

（上図は4つの報告書から宮下がまとめました。）

## 今回のご紹介した遺跡は『縄文から近代』のものでした

注）下表の年代は諸説

時代区分	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝・室町・安土桃山時代	江戸時代
年代	～前14000頃	前14000～前5C半	前5C半ば～3C	3C～7C	710～794	794～1185	1185～1333	1333～1603	1603～1868
主な市内遺跡 赤書は橋町	草場・おつぼ山第1水門・南檜崎遺跡。 若木町小路遺跡、中野の黒曜石、柏岳サカイト	<b>市場・下貝原</b> 。 釈迦寺遺跡等の遺物。市内200力以上。阿舍利・椿原遺跡（市内）	小橋-みやこ遺跡の環濠。潮見川流域・釈迦寺等遺跡、市内100力以上。東宮裾遺跡	町内遺跡の鏡、銅剣。玉江遺跡、玉島・潮見古墳、おつぼ山神籠石、東福寺 武雄平野を取り囲む山の周辺で300基以上	肥前風土記と歌垣山、井手橋・林副（墨書土器）ドウザマ墓地 立石と官道 小野原遺跡 武雄温泉 広福寺仏像 野須恵器窯跡（北方）都衛施設	長嶋庄成立 橋町条里制庄の前遺跡 おつぼ山経塚 長島庄が蓮華王院領 武雄神社、黒尾神社、各地の経塚、佐賀県最古の文書（実検状） 軟喜寺薬師如来像	潮見城跡と館跡、潮見川流域・馬場・立岩等の中世遺跡、潮見川開削と河童壺石、渋江・中村・中橋氏館跡 源頼朝御教書 塚崎庄が長島庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、渋江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、潮見讓落城と鉄砲・丹宗堀塚崎庄拡大、武雄・黒尾社、後藤が渋江攻略、肥前古窯跡と古武雄	三法方郷（橋は本藩・蓮池・後藤領） 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道上野本窯・皿山窯跡 南部系窯跡後藤鶴島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱